

# 福島県西郷村工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

西郷村は、福島県の南部、栃木県との県境に位置する人口約2万人の村である。

昭和40年代後半から、東北自動車道白河ICや東北新幹線新白河駅の設置など、高速交通体系が整備され首都圏との所要時間が短縮されたことに伴い企業の進出が進んだ。

村では、これらの進出企業や誘致企業に対応するため工業団地の整備を図るとともに、企業の水需要に対応するため工業用水道事業を創設し水の安定供給に努めてきた。

## ○事業の経緯

本村の工業用水道事業は、昭和59年に大平工業用水道事業、平成3年に楢山工業用水道事業、平成13年に長久保工業用水道事業がそれぞれ供用を開始し現在に至っている。

・大平工業用水道事業は昭和59年10月に供用を開始した。給水先は1社で、当初の契約水量は8,000m<sup>3</sup>/日であった。

平成20年4月からは企業の業績が好調なことから契約水量を18,000m<sup>3</sup>/日に増量し給水を行っている。これに伴い、従来の水源（南第1水源～第7水源、北第1水源～北第5水源、後原第1水源）に加えて、後原第2水源、後原第3水源等新設し安定供給を図っている。

水源は全て地下水であるが、給水開始以来20年以上経過し井戸等施設の老朽化が進み取水能力の維持が困難になってきている水源があるため、今後、計画的な施設更新による対応を考えている。

・楢山工業用水道事業は平成3年4月に供用を開始した。水源は3か所で、大平工業用水道事業と同様に全て地下水である。給水先は3社で、3社合計の契約水量は3,200m<sup>3</sup>/日となっている。

・長久保工業用水道事業は、平成13年4月に供用を開始。他の事業と同じく6か所の水源は全て地下水である。1社の供給先に対し契約水量7,000m<sup>3</sup>/日で給水を行っている。

## ○ユーザーの概要

(平成20年9月30日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
電子製品	3	27,500
その他	1	700
合計	4	28,200

## ○工業用水道施設の概要

- ・大平工業用水道事業は水源が15か所（南第1～第7水源、北第1～第5水源、後原第1～第3水源）、配水池が2か所、送水管が9,212mで給水能力は18,520m<sup>3</sup>/日である。
- ・楢山工業用水道事業は水源が3か所、配水池が1か所、送水管が840m、配水管が148mで給水能力は3,600m<sup>3</sup>/日である。
- ・長久保工業用水道事業は水源が6か所、配水池が1か所、送水管が2,472m、配水管が137mで給水能力は8,000m<sup>3</sup>/日となっている。

## ○事業の特徴

本村の工業用水道事業は、水源が全て地下水ということもあり水質が安定しているため取水した水は浄水することなく受水企業側へ配水されている。

また、3事業とも契約率（平均95%）が高いため、未売水も少なく経営状態も安定している。

## ○西郷村のホームページアドレス

<http://www.vill.nishigo.fukushima.jp/>

# 西郷村工業用水道位置図

